



後部リモート油圧キット

Sand Pro®/Infield Pro® 3040 および 5040 トラクションユニット用

モデル番号08781-シリアル番号 311000001 以上

取り付け要領

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	-	マシンの準備を行う。
2	必要なパーツはありません。	-	エアクリーナを取り外す。
3	必要なパーツはありません。	-	油圧オイルタンクとシュラウドを外す。
4	小さい 90 度 T 字フィッティング (バープ付き) 大きい 90 度エルボ (両端ともねじ) ストレナー	1 1 1	油圧オイルタンクにフィッティングを取り付ける。
5	リテーナブラケット マフラクランプ ホースリテーナブラケット カップラブラケット	1 2 1 1	後フレームにカップラブラケットを取り付ける。
6	バルブ バルブ・プレート ボルト (1/4 x 1-3/4 インチ) ナット, (1/4 インチ) 90度エルボ (小) T字フィッティング タッピングボルト, (9/32 x 3/4 インチ) T 字アダプタ リレー キャップ	1 1 2 2 1 1 2 1 1 1 1	マニホルドとブラケットを取り付ける。
7	油圧オイルキャップ 油圧ライン (1番) 油圧ライン (2番) 油圧ライン (ホース) (5番)	1 1 1 1	油圧ラインを取り付ける。



手順	内容	数量	用途
8	油圧ポンプ	1	油圧ポンプを取り付ける。
	45度フィッティング(オス側の端部)	1	
	ハブアセンブリ	1	
	角キー(1/4 x 1 インチ)	1	
	固定ねじ(5/16 x 3/4 インチ)	4	
	ポンプブラケット	1	
	ボルト(ロクタイト(Loctite®)(5/16 x 3/4 インチ)	2	
	ワッシャ(3/8 インチ)	2	
9	大きい 90 度エルボ(ホース接続用バーブ側)	1	油圧ラインを取り付ける。
10	油圧ライン(3番)	1	油圧ラインを取り付ける。
	油圧ライン(4番)	1	
	大きい油圧ホース	1	
	油圧ホース(フィッティング付き)	1	
	大きいホースクランプ	2	
	小さいホース・クランプ	2	
	細いモールドタイプの油圧ホース	1	
	R クランプ	1	
11	ボルト(5/16 x 7/8 インチ)	1	油圧ホースを取り付けます。
	フランジナット(5/16 インチ)	1	
12	必要なパーツはありません。	-	全部の接続部を締め付ける。
13	ハーネス	1	スイッチとハーネスを取り付ける。
	スイッチ	1	
	ヒューズ	1	
14	ディップスティック	1	油圧オイルを入れオイル漏れがないか点検する。
	油圧オイル	25.5 リットル	

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

機体全体をていねいに洗浄する。取り付けブラケットがぴったりと嵌るように、また油圧システム内部にごみや異物が絶対に混入しないようにするために、汚れを完全に落としてください。

2

エアクリーナを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

1. エアクリーナの周囲をきれいに清掃する。
2. ホースについているラジエター用のクランプをゆるめてクランプをホース部にずらす。
3. エアクリーナを固定している内側ボルトを外す。
4. エアクリーナのカバーとフィルタを取り外す。

3

油圧オイルタンクとシュラウドを外す

必要なパーツはありません。

手順

1. タンク内部のオイルを抜き取る。手順についてはオペレーターズマニュアルを参照のこと。
2. 機体後部を持ち上げ、サポートブロックを当てて後部を浮かした状態で支える。ジャッキアップ手順についてはオペレーターズマニュアルを参照のこと。
3. 左後ろのタイヤを取り外す。
4. 左ホイール用のシュラウドをフレームに固定しているフランジヘッドねじ（4本）を外す（図 3）。シュラウドを外して保管する。

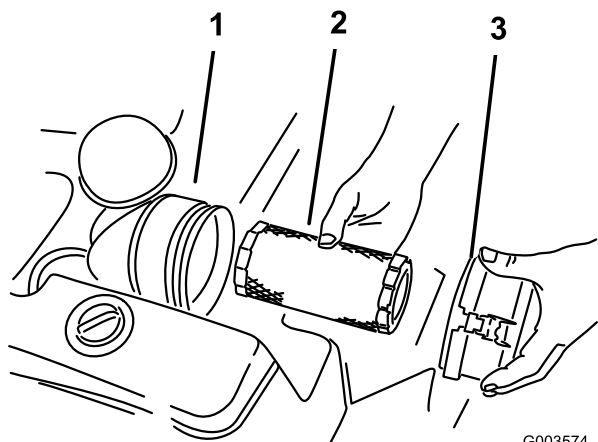


図 1

G003574

1. エアクリーナのキャニスタ
2. エアフィルタ
3. キャニスタのカバー

5. エアクリーナキャニスタからホースを外す。
6. エアクリーナのストラップをゆるめ、キャニスタから引き抜く（フィルタを抜き取った側から引き抜く）（図 2）。

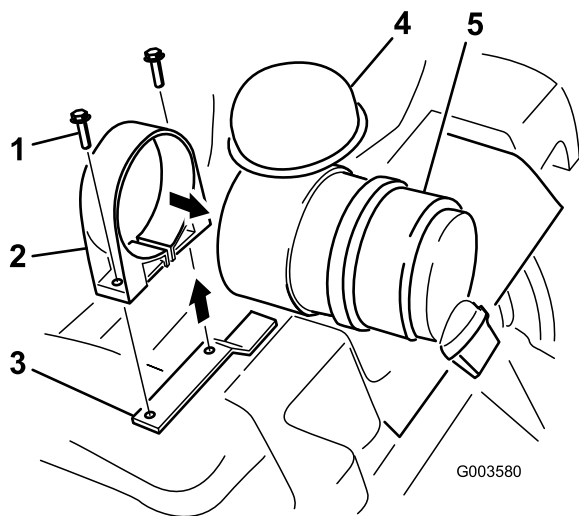


図 2

G003580

1. ボルト
2. エアクリーナのストラップ
3. 機体フレーム
4. キャップ
5. エアクリーナのキャニスタ

7. 外したホースの口から異物が内部に入らないように、ホースの口にカバーを掛けるか口をウェスで覆うなどする。
8. ストラップを機体フレームに固定しているもう一方のボルトを外す。

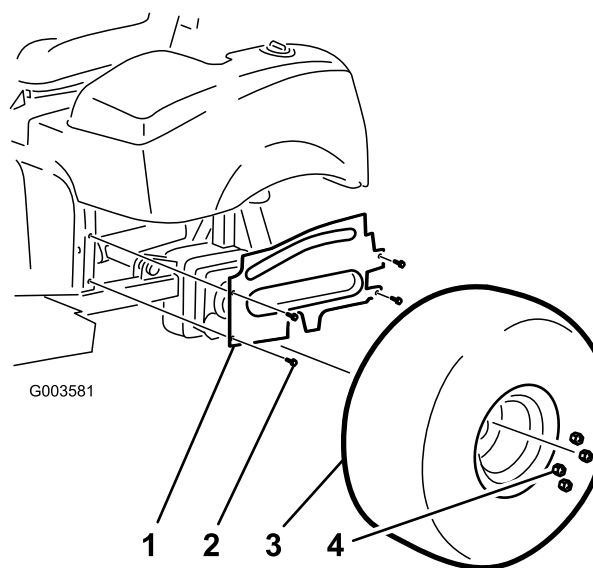


図 3

G003581

1. 左ホイール用シュラウド
2. フランジヘッドねじ
3. タイヤ
4. ナット

5. 左前スクリーンをフレームに固定しているフランジヘッドねじ（2本）を外す。スクリーンを外して保管する。

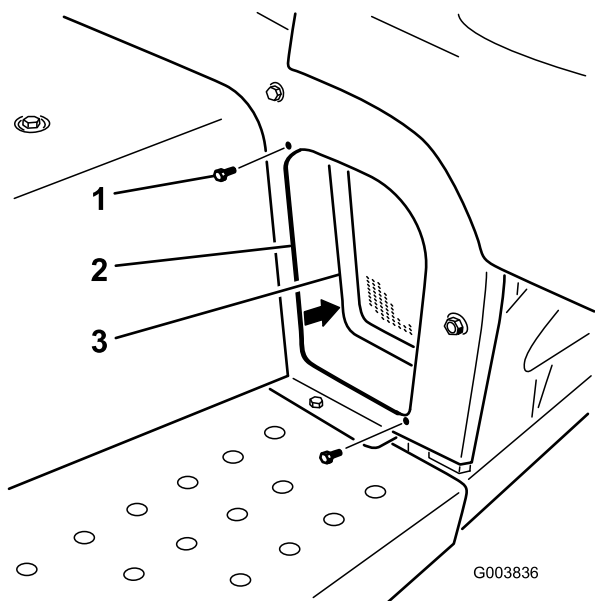


図 4

- | | |
|--------------|------------|
| 1. フランジヘッドねじ | 3. 左前スクリーン |
| 2. フレーム | |

6. リアヒッチのシールドをフレームに固定しているボルト（3本）を外す。

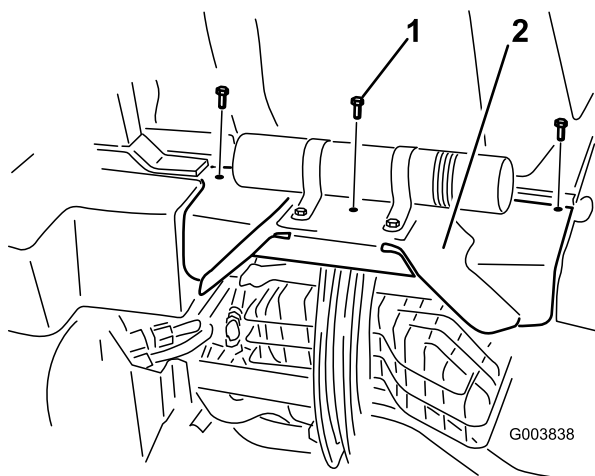


図 5

- | | |
|--------|--------------|
| 1. ボルト | 2. リアヒッチシールド |
|--------|--------------|

7. センターシュラウドをフレームに固定しているネジ（2本）を外す（図 6）。シュラウドを外して保管する。

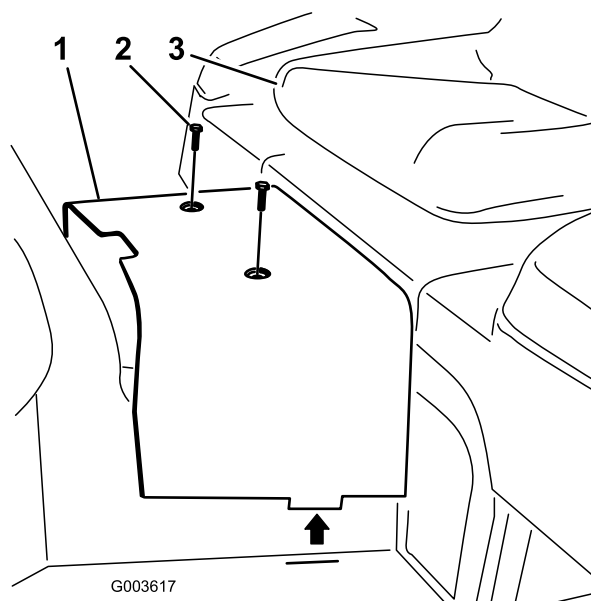


図 6

- | | |
|--------------|--------|
| 1. センターシュラウド | 3. 運転席 |
| 2. ねじ | |

8. タンクに入っていく油圧ラインを外す。
9. 機体フレームから油圧オイルタンクの上部ブラケットを外し、フレーム側部についているブラケット（2つ）をゆるめる。（図 7）。タンクを外し、金具類と共に保管する。

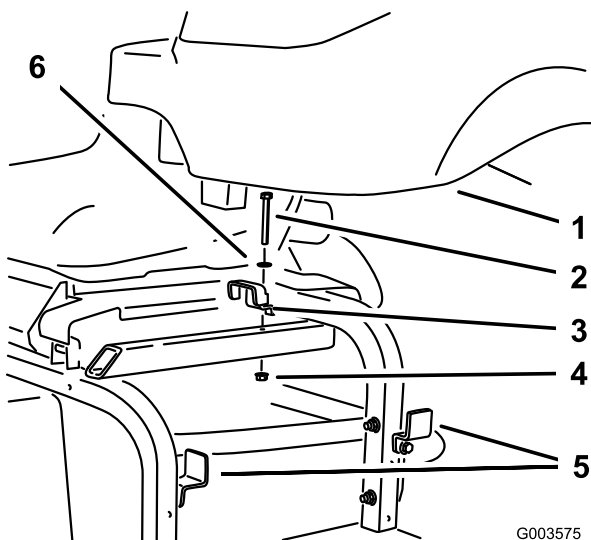


図 7

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 油圧オイルタンク | 4. ナット |
| 2. ボルト | 5. 側部ブラケット |
| 3. 上部ブラケット | 6. ワッシャ |

4

油圧オイルタンクにフィッティングを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	小さい 90 度 T 字フィッティング (バーブ付き)
1	大きい 90 度エルボ (両端ともねじ)
1	ストレーナ

手順

注 全部のOリングをきちんと潤滑し、対応するフィッティングの正しい位置にセットしてから取り付けてください。

注 全部のフィッティングと油圧ラインをまず仮付けし、問題がないことを確認してから本締めしてください。各フィッティングを図に示されているように取り付ける。

1. タンク側部から油圧タンク用プラグ (2個) を取り外す。
2. 大きい方のプラグを外したところのタンク内側にストレーナを取り付ける。
3. ストレーナに大きい 90 度エルボを取り付ける。
4. 小さい方のプラグを取り外したところに、小さい 90 度 T 字フィッティング (バーブ付き) を取り付ける (図 8)。

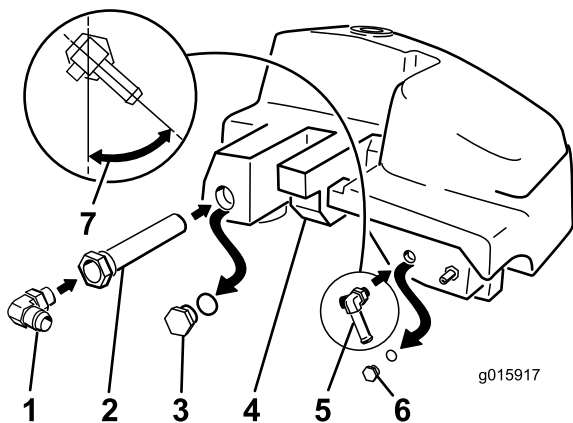


図 8

1. 大きい 90 度エルボ: 図のような角度に取り付ける。
2. ストレーナ
3. 大きいプラグを抜く。
4. 油圧オイルタンク
5. 小さい 90 T 字フィッティング: 図のような角度に取り付ける。
6. 小さいプラグを抜く。
7. 45度

5

後フレームにカップラブラケットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

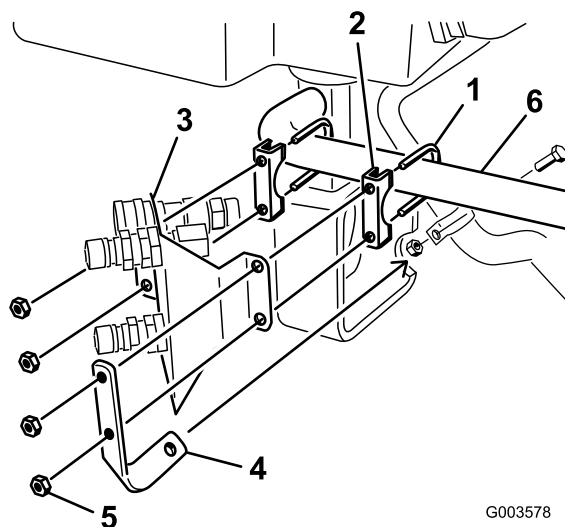
1	リテーナブラケット
2	マフラークランプ
1	ホースリテーナブラケット
1	カップラブラケット

手順

注 全部の油圧ラインを仮配線し、問題がないことを確認してから本締めしてください。

1. 後フレームの丸いチューブにクランプを通す。
2. ホースリテーナブラケットとカップラブラケットを、マフラークランプに取り付ける。この時点ではまだナットを締め付けないこと。カップラブラケットがゆるんだ状態でないと油圧ラインを取り付けることができない (図 9)。

図 10 に示す位置の丸管に、一時的にカップラブラケットを取り付ける。管の曲がり始め部分に取り付ける。



G003578

図 9

1. マフラークランプ
2. マフラーブラケット
3. カップラブラケット
4. リテーナブラケット
5. ナット
6. 後フレームの丸いチューブ

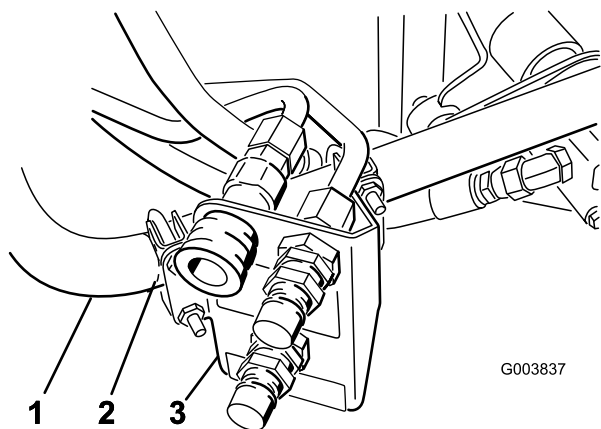


図 10

1. 丸管のフレームチューブ 3. カップラブラケット
2. カップラブラケットの一時取り付け位置

6

バルブを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	バルブ
1	バルブ・プレート
2	ボルト (1/4 x 1-3/4 インチ)
2	ナット, (1/4 インチ)
1	90度エルボ (小)
1	T字フィッティング
2	タッピングボルト, (9/32 x 3/4 インチ)
1	T 字アダプタ
1	リレー
1	キャップ

手順

注 全部のOリングをきちんと潤滑し、対応するフィッティングの正しい位置にセットしてから取り付けてください。

注 全部のフィッティングと油圧ラインをまず仮付けし、問題がないことを確認してから本締めしてください。各フィッティングを図に示されているように取り付ける。

1. 各フィッティングを図に示されているように取り付ける。バルブの側部に T字フィッティングを取り付ける。T字フィッティングの正しい位置については 図 11 を参照のこと。

2. バルブの上部 に小さい 90度エルボを取り付ける (図 11)。
3. 90度エルボに T 字アダプタを取り付ける。T字フィッティングの正しい位置については 図 11 を参照のこと。
4. T 字アダプタにキャップを取り付ける (図 11)。
5. バルブブラケットにバルブを取り付けるのと同時にバルブにリレーを取り付ける。
6. バルブをを、バルブブラケットに取り付ける；ボルト2本 (1/4 x 1-3/4 インチ) とロック2個 (1/4 インチ) を使用する (図 11)。

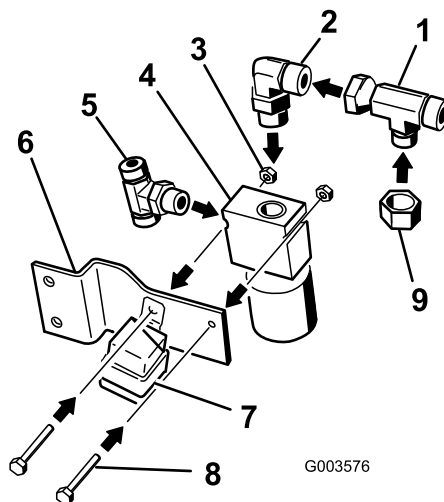


図 11

1. T 字アダプタ
2. 90度エルボ (小)
3. ナット
4. バルブ
5. T字フィッティング
6. バルブブラケット
7. リレー
8. ボルト (1/4 x 1-3/4 インチ)
9. キャップ

7. 機体フレームにバルブブラケットを取り付ける；タッピングボルト (9/32 x 3/4 インチ) 2本を使用する (図 12)。

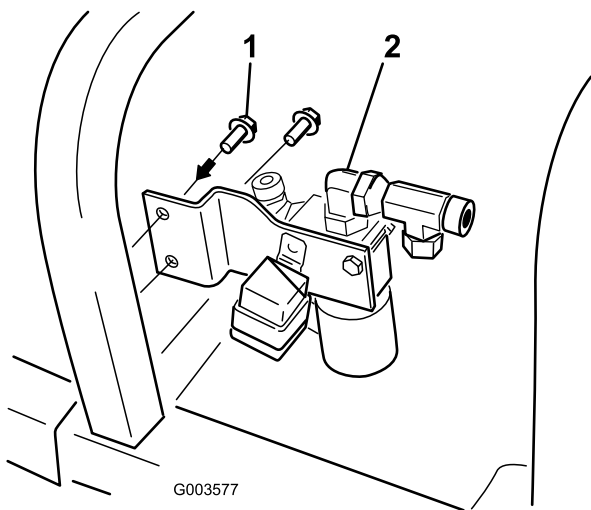


図 12

1. タッピングボルト (9/32 x 3/4 インチ) 2. バルブアセンブリ

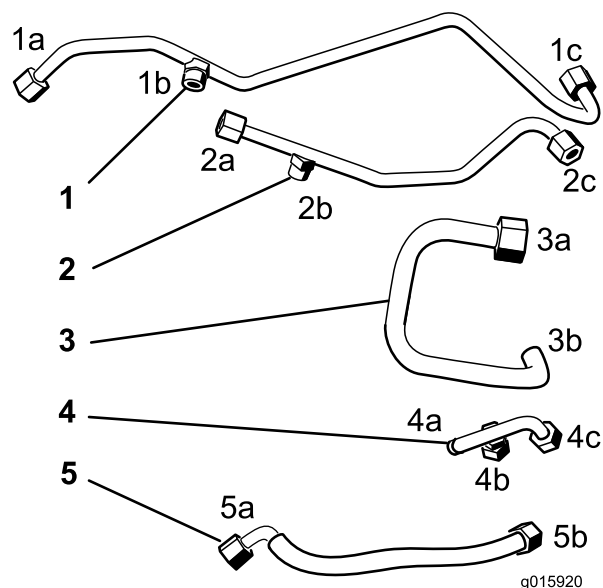


図 13

1. 油圧ライン (1番) 4. 油圧ライン (4番)
2. 油圧ライン (2番) 5. 油圧ライン (ホース) (5番)
3. 油圧ライン (3番)

7

油圧ライン 1、2、5 を取り付ける。

この作業に必要なパーツ

1	油圧オイルキャップ
1	油圧ライン (1番)
1	油圧ライン (2番)
1	油圧ライン (ホース) (5番)

手順

油圧ラインの正しい配置については 図 13 を参照する。

注 全部の油圧ラインを仮配線し、問題がないことを確認してから本締めしてください。

- 油圧ライン (1番) のポート 1b に油圧オイルキャップを取り付ける。
- 図 14 に示すように、油圧ライン (1番) を機体に位置決めする。
- バルブの側部に組みつけられたフィッティングに油圧ライン (1番) を取り付ける (図 14)。
- 油圧ライン (1番) を、上側のオスのカップラに取り付ける (図 14)。

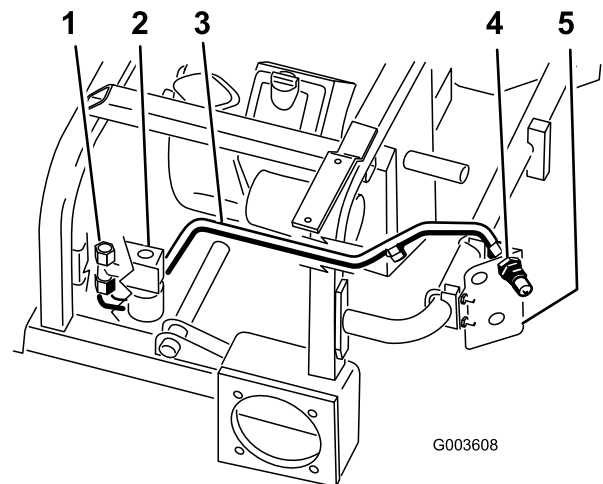


図 14

1. バルブの側部に T 字フィッティングを取り付ける。 4. 上側のオスのカップラ
2. バルブ 5. カップラブラケット
3. 油圧ライン (1番)

5. 図 15 に示すように、油圧ライン（2番）を機体に位置決めする。
6. 90度エルボに組みつけられた T 字フィッティングとバルブ上部に油圧ライン（2番）を接続する（図 15）。
7. 油圧ライン（2番）を、上側のメスのカップラに取り付ける（図 15）。

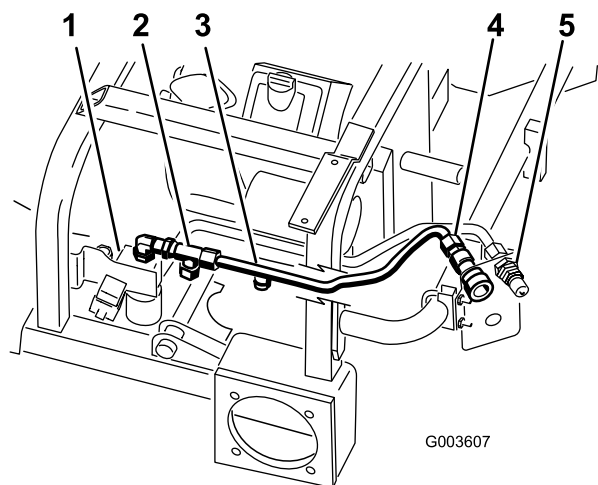


図 15

1. バルブ
2. 90度エルボに組みつけられた T 字フィッティング
3. 油圧ライン(2番)
4. 上側のメスのカップラ
5. カップラブラケット

8. 油圧ライン（ホース）（5番）を、下側のオスのカップラに仮止めする（図 16）。このホースの他端は、ステップ10で接続を行う。

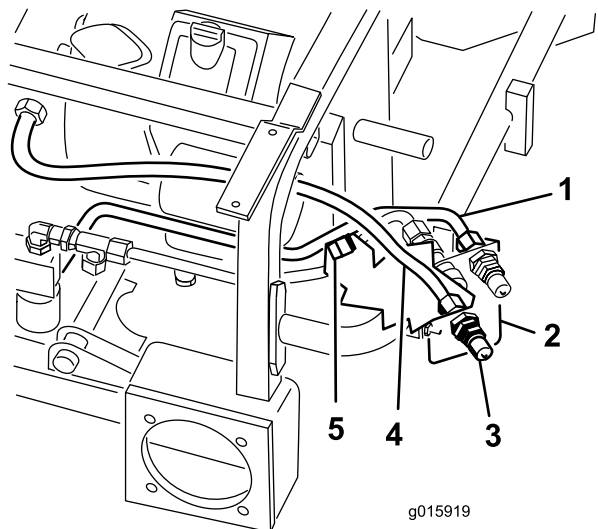


図 16

1. 油圧ライン(1番)
2. カップラブラケット
3. 下側のオスのカップラ
4. 油圧ライン(ホース)(5番)
5. 油圧オイルキャップ

8

油圧ポンプを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	油圧ポンプ
1	45度フィッティング(オス側の端部)
1	ハブアセンブリ
1	角キー(1/4 x 1 インチ)
4	固定ねじ(5/16 x 3/4 インチ)
1	ポンプブラケット
2	ボルト(ロクタイト(Loctite®))(5/16 x 3/4 インチ)
2	ワッシャ(3/8 インチ)
1	大きい 90 度エルボ(ホース接続用バーブ側)

手順

1. 大きい90度の角エルボを油圧ポンプの側部に取り付ける。
2. 45度の角エルボを油圧ポンプの側部に取り付ける（図 17）。

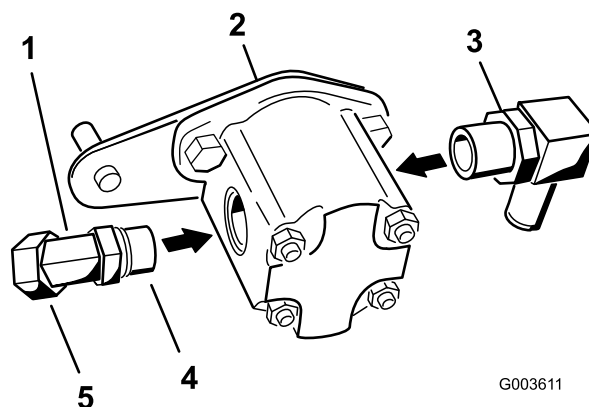


図 17

1. 45度エルボ
2. 油圧ポンプ
3. 大きい 90 度エルボ(ホース接続用バーブ側)
4. オス側端部
5. メス側端部

3. エンジンの PT0 についているカバーを外す。
4. エンジンにポンプブラケットを取り付ける；ボルト2本（5/16 x 3/4 インチ）とワッシャ2枚（3/8 インチを使用する）。ポンプブラケットの正しい取り付け位置については 図 18 を参照のこと。

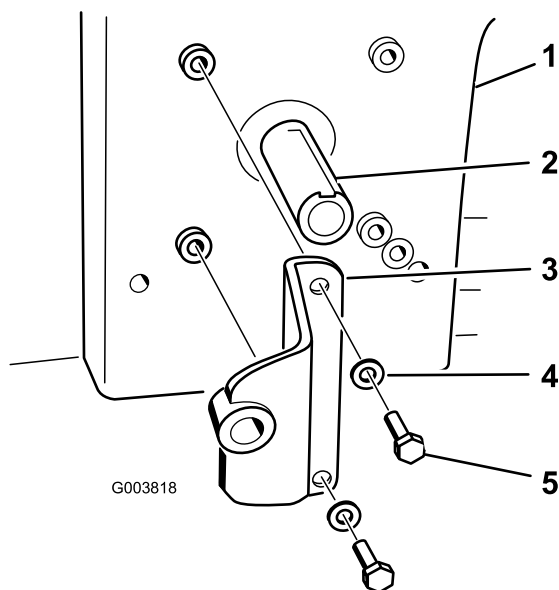


図 18

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. エンジン | 4. ワッシャ(3/8 インチ) |
| 2. エンジンの PTO シャフト | 5. ボルト(5/16 x 3/4 インチ) |
| 3. ポンプブラケット | |

5. エンジンの PTO のシャフトと油圧ポータのシャフトに Never-Seez® を塗る。
6. エンジンの PTO シャフトのスロットに角キー (1/4 x 1 インチ) を取り付ける (図 19)。
7. 角キーに整列させて、エンジン PTO にハブ・アセンブリを取り付ける (図 19)。

注 ハブ・アセンブリがシャフトの一番奥までしっかり入れてください。

8. 2本の固定ねじ (5/16 x 3/4 インチ) に 青色 Loctite® を塗って、ハブアセンブリを PTO シャフトに固定する (図 19)。

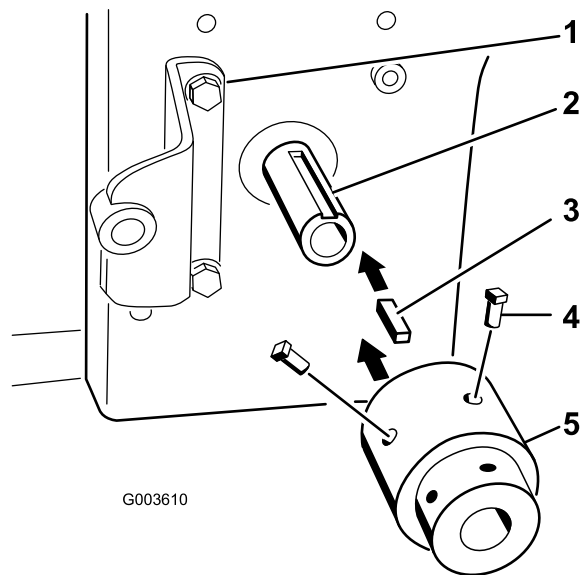


図 19

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. ポンプブラケット | 4. 固定ねじ (5/16 x 3/4 インチ) |
| 2. エンジンの PTO シャフト | 5. ハブアセンブリ |
| 3. 角キー(1/4 x 1 インチ) | |

9. 油圧ポンプのシャフトをハブ・アセンブリに取り付ける時にポンププレート用スタッドをポンプブラケットに取り付ける。油圧ポンプのシャフトがエンジンの PTO シャフトに接触する (図 20)。

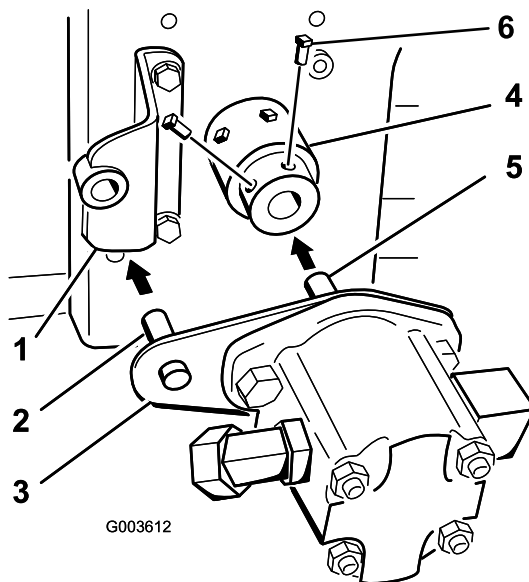


図 20

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1. ポンプブラケット | 4. ハブアセンブリ |
| 2. ポンププレートのスタッド | 5. 油圧ポンプへのシャフト |
| 3. ポンププレート | 6. 固定ねじ (5/16 x 3/4 インチ) |

10. ハブアセンブリがシャフトの一番奥に完全に入っている必要がある。ポンププレートとハブ・アセンブリとの間に隙間があることを確

認する。隙間が全然ない場合は、ハブアセンブリが正しく取り付けられていないので取り付けを修正する（図 21）。

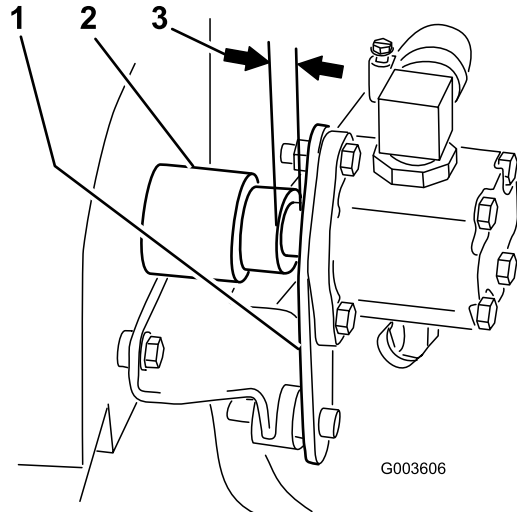


図 21

1. ポンププレート
2. ハブアセンブリ
3. ハブアセンブリとポンププレートとの間の隙間が 1.0-3.1 mm

11. 2本の固定ねじ（5/16 x 3/4 インチ）に 青色 Loctite® を塗って、これらをハブアセンブリに取り付けて油圧ポンプのシャフトを固定する（図 20）。

9

油圧ライン 3、4 を取り付ける。

この作業に必要なパーツ

1	油圧ライン (3番)
1	油圧ライン (4番)

手順

注 全部の油圧ラインを仮配線し、問題がないことを確認してから本締めしてください。

油圧ラインの正しい配置については 図 22 を参照する。

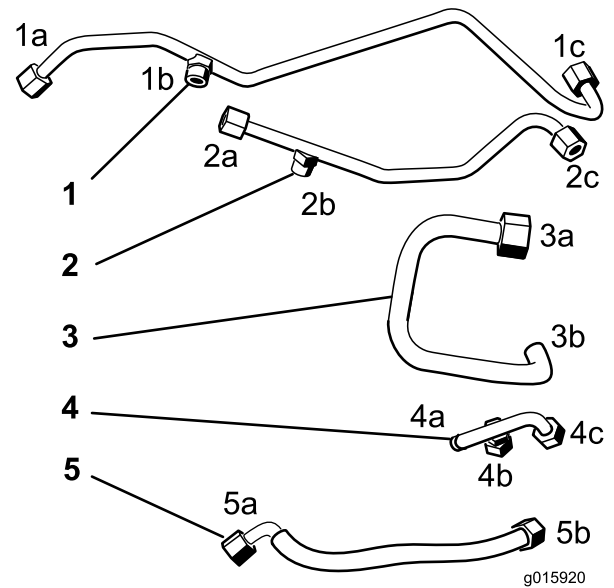


図 22

1. 油圧ライン (1番)
2. 油圧ライン (2番)
3. 油圧ライン (3番)
4. 油圧ライン (4番)
5. 油圧ライン (5番)

1. 既存のホースを油圧タンクに元通りに取り付ける。
2. 油圧オイルタンクをフレームに取り付け、これを先ほど取り外したブラケットとゆるめてあったブラケットで固定する（図 23）。

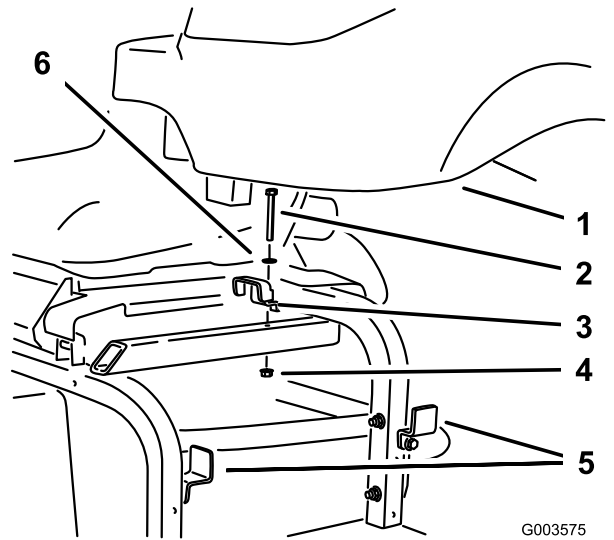


図 23

1. 油圧オイルタンク
2. ボルト
3. 上部ブラケット
4. ナット
5. 側部ブラケット
6. ワッシャ

3. バルブの側部組みつけられたフィッティングに油圧ライン (4番) を取り付ける（図 24）。

10

油圧ホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	大きい油圧ホース
1	油圧ホース(フィッティング付き)
2	大きいホースクランプ
2	小さいホース・クランプ
1	細いモールドタイプの油圧ホース
1	R クランプ
1	ボルト (5/16 x 7/8 インチ)
1	フランジナット(5/16 インチ)

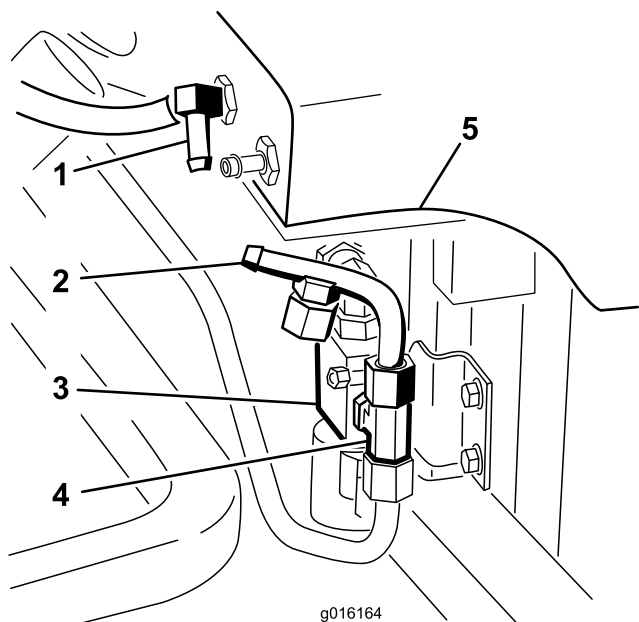


図 24

1. 油圧オイルタンク内部の小さい 90 度 T 字フィッティング (パージ付き)
2. 油圧ライン(4番)
3. バルブ
4. T字フィッティング
5. 油圧オイルタンク

4. 図 25 に示すように、油圧ライン (3番) を機体に位置決めする。
5. ストレーナと油圧オイルタンクに取り付けた 90 度エルボに、油圧ライン (3番) を取り付ける (図 25 と 図 30)。

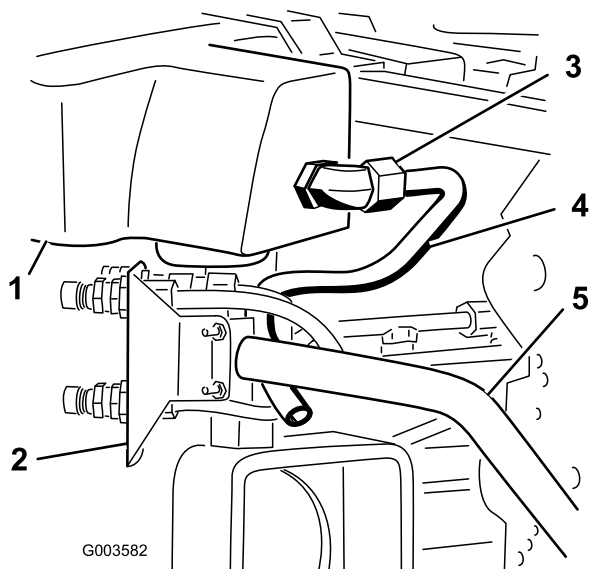


図 25

1. 油圧オイルタンク
2. カップラブラケット
3. タンクに取り付けた大きい 90 度エルボ
4. 油圧ライン(3番)
5. 機体フレーム

手順

注 どのホースも摩れたり当たったりしていないことを確認してください。

1. 大きいホースクランプ (2個) を太い油圧ホースにつける。
2. 油圧オイルポンプの側部に取り付けた90度エルボに太い油圧ホースを取り付ける (図 26 と図 30)。
3. ホースとエルボにつけたホースクランプを締め付ける (図 26)。
4. 太い油圧ホースを油圧ライン (3番) に取り付ける (図 26)。
5. ホースと油圧ライン (3番) のにつけたホースクランプを締め付ける (図 26)。

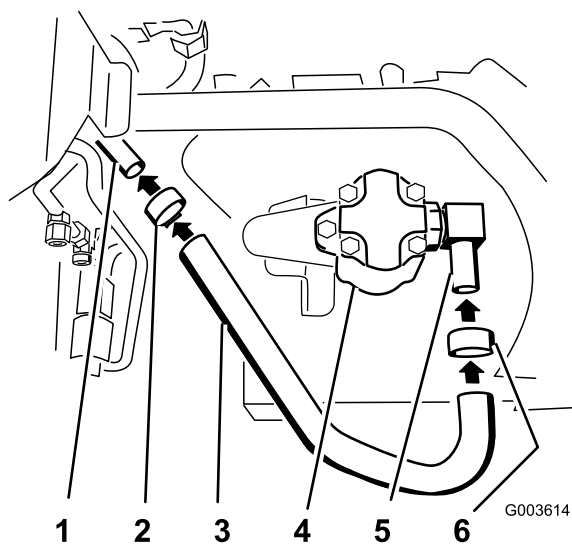


図 26

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 油圧ライン(3番) | 4. 油圧ポンプ |
| 2. ホースクランプ | 5. 90度エルボ |
| 3. 大きい油圧ホース | 6. ホースクランプ |

6. 太い油圧ホースに R クランプを取り付ける (図 27)。リテーナブラケットに R クランプを取り付ける；ボルト1本 (5/16 x 7/8 インチ) とナット (5/16 インチ) を使用する (図 27)。

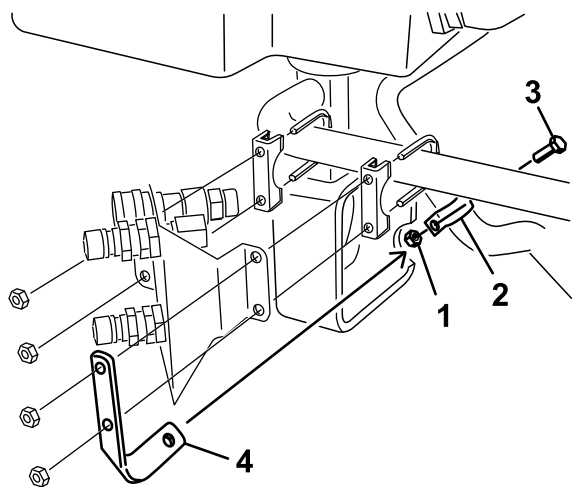


図 27

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. ナット(3/8 インチ) | 3. ボルト(3/8 x 3/4 インチ) |
| 2. R クランプ | 4. リテーナブラケット |

7. フィッティング付きの油圧ホースを、バルブ上部に取り付けた T 字アダプタに接続する (図 28)。

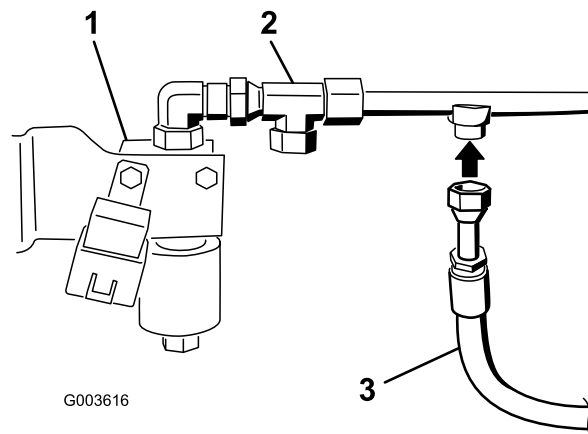


図 28

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. バルブ | 3. 油圧ホース(フィッティング付き) |
| 2. バルブ上部の T 字アダプタ | |

8. フィッティング付きの油圧ホースを、油圧ポンプに取り付けた 45 度エルボに取り付ける (図 29 と 図 30)。油圧シリンダの下側になる。

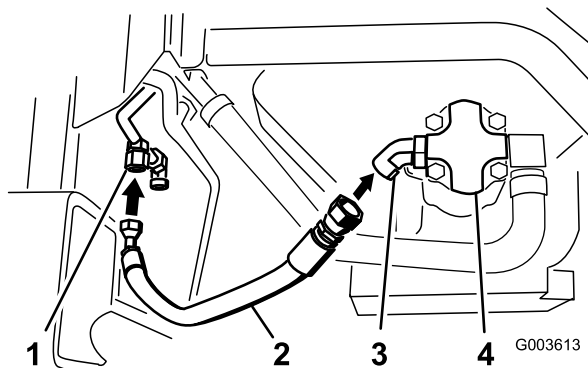


図 29

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1. バルブの側部の T 字アダプタ | 3. 45度エルボ |
| 2. 油圧ホース(フィッティング付き) | 4. 油圧ポンプ |

9. 油圧ホースと油圧ラインと油圧ポンプとの位置関係については 図 30 を参照のこと。

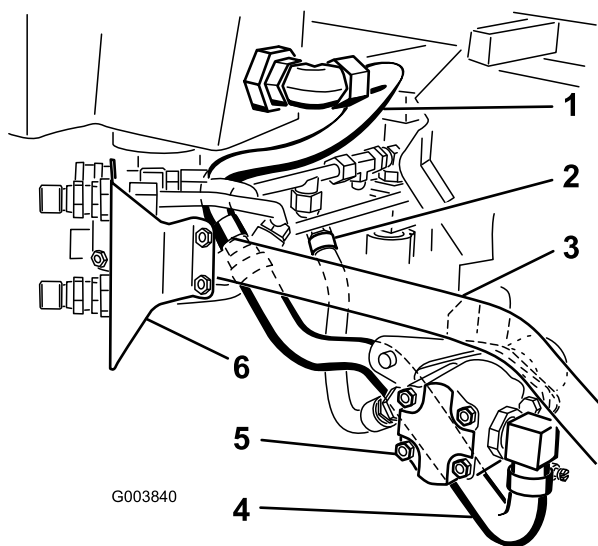


図 30

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 油圧ライン(3番) | 4. 大きい油圧ホース |
| 2. 油圧ホース(フィッティング付き) | 5. 油圧ポンプ |
| 3. 機体フレームのチューブ | 6. カップラブラケット |

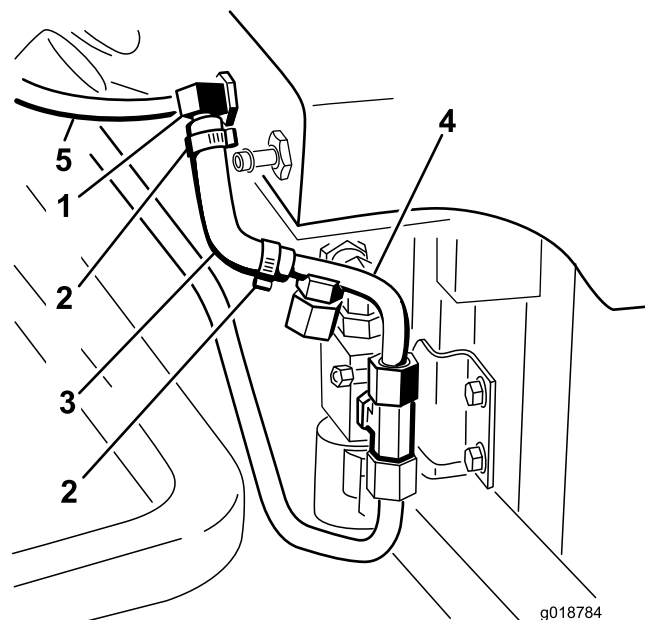


図 31

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 油圧オイルタンク内部の小さい 90 度 T 字フィッティング(バーブ付き) | 4. 油圧ライン(4番) |
| 2. 小さいホース・クランプ | 5. 油圧ライン(ホース)(5番) |
| 3. 細いモールドタイプのホース | |

10. モールドタイプの細い油圧ホースに小さいホースクランプを取り付ける (図 31)。
11. モールドホースの長い方の脚を、油圧オイルタンクの 90 度 T 字フィッティングに取り付ける (図 31)。
12. モールドホースの短い方の脚を、油圧ライン(4番)のバーブ端部に取り付ける (図 31)。
13. モールドホースの両端につけてあるホースクランプを締め付ける。
14. 油圧ライン(ホース)(5番)を、小さい 90 度 T 字フィッティングに仮止めする (図 31)。

11

全部の接続部を締め付ける

必要なパーツはありません。

手順

注 取り付けたホースやラインが、鋭利な部分、高温部、可動部などに一切接触していないことを確認してください。

1. 全部の油圧ラインとホースの取り付けができたら、各接続部の締め付けを行う。
2. タンクのフィッティングの締め付けはレンチでバックアップする。
3. カップラブラケットを、左側タイヤにできるだけ近い位置に固定する。

12

スイッチとハーネスを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ハーネス
1	スイッチ
1	ヒューズ

手順

1. 機体からコントロールパネルを外す。
2. パネルについているプラグを打ち抜いて、パネルにスイッチを取り付ける（図 34）。
3. ハーネスを、スイッチから運転席の蝶番部に沿って、先ほどバルブに取り付けたリレーまで配線する（図 32）。

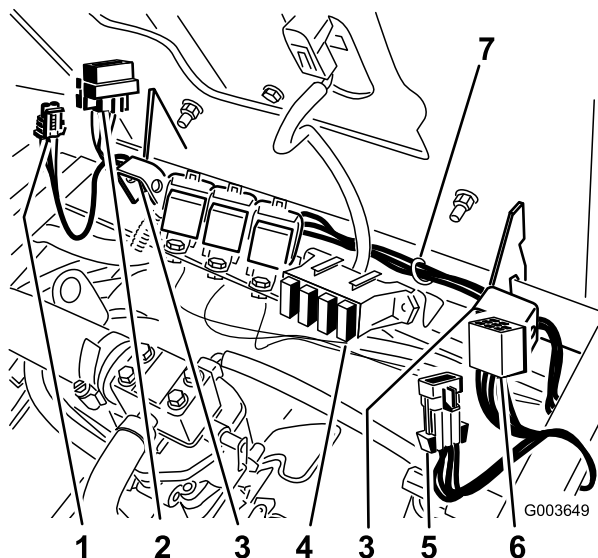


図 32

1. 小さいコネクタ
2. 四角いコネクタ
3. 運転席の蝶番
4. ヒューズブロック
5. メインハーネスコネクタ
6. スイッチ用コネクタ
7. ケーブルタイ

4. コントロールパネルに取り付けたスイッチにハーネスを接続する（図 34）。
5. コントロールパネルの下のメインハーネス部からジャンパワイヤを外す（図 33）。

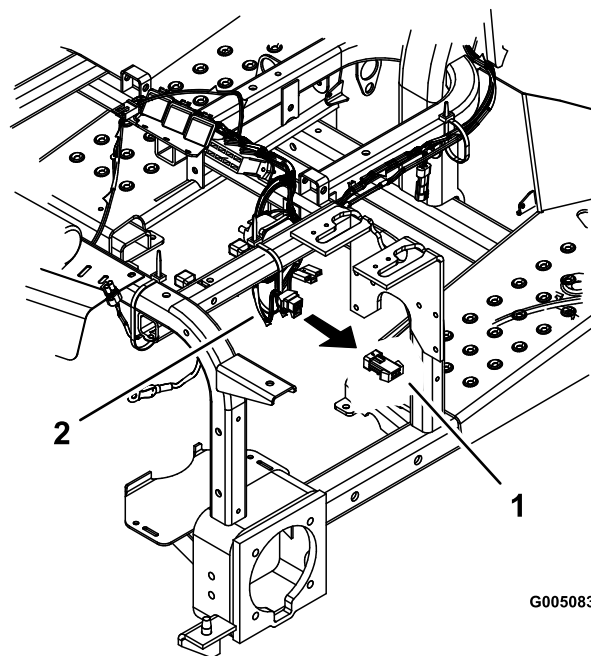


図 33

1. メインハーネスコネクタ
2. ジャンパワイヤ

6. メインハーネスコネクタをメインハーネスに接続する（図 34）。
7. コントロールパネルを機体に取り付ける。

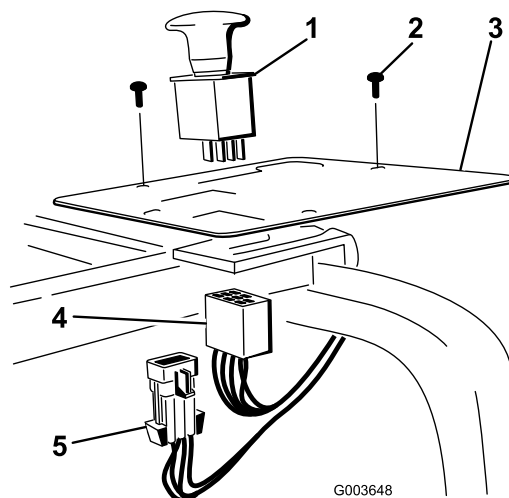


図 34

1. スイッチ
2. ねじ
3. コントロールパネル
4. スイッチ用コネクタ
5. メインハーネスコネクタ

- ヒューズボックスの右側スロットにヒューズを取り付ける（図 32）。
8. バルブの隣に取り付けたリレーにコネクタを接続する（図 35）。
9. 小さいコネクタをバルブに接続する（図 35）。
10. ケーブルタイを使って、ワイヤハーネスをバルブに縛り付ける。

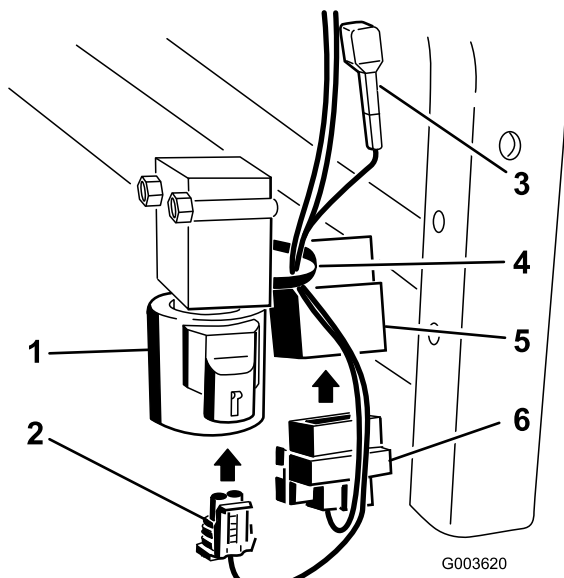


図 35

- | | |
|------------|------------|
| 1. バルブ | 4. ケーブルタイ |
| 2. 小さいコネクタ | 5. リレー |
| 3. ダイオード | 6. 四角いコネクタ |

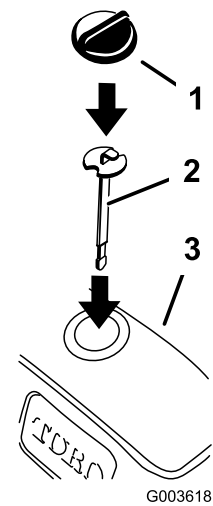


図 36

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 油圧オイルタンクのキャップ | 3. 油圧オイルタンク |
| 2. ディップスティック | |

- エンジンを始動し、5 分間程度運転する。
- ボール紙を使ってオイルもれがないかどうか点検する。高圧で噴出する作動油は皮膚を貫通し、身体に重大な損傷を引き起こす。

⚠ 警告

高圧で噴出する作動油は皮膚を貫通し、身体に重大な損傷を引き起こす。

- ・ 万一、油圧オイルが体内に入った場合には、この種の労働災害に経験のある施設で数時間以内に外科手術を受ける必要がある。処置が遅れると傷口が壊疽を起こす危険がある。
- ・ 油圧のピンホール・リークやノズルからは作動油が高圧で噴出しているので、絶対に手などを近づけない。
- ・ リークの点検には新聞紙やボール紙を使う。
- ・ 油圧関係の整備を行う時は、内部の圧力を確実に解放する。
- ・ 油圧を掛ける前に、油圧ラインやホースに傷や変形がないか接続部が確実に締まっているかを確認する。

- フレームに左前スクリーンを取り付ける。
- フレームに前シュラウドを取り付ける；フランジヘッドねじ4本を使用する。
- 左ホイール用のシュラウドをフレームに固定するフランジヘッドねじ（4本）を取り付ける（図 37）。
- 左後ろのタイヤを取り付ける（図 37）。

13

油圧オイルを入れオイル漏れがないか点検する

この作業に必要なパーツ

1	ディップスティック
25.5 リットル	油圧オイル

手順

油圧システムの容量は 25.5 リットルとなります。

使用すべきオイルの種類についてはオペレーターズマニュアルを参照のこと。

- 油圧オイルタンクについている古いディップスティックを取り外して捨てる。
- 補給管から、必要量の80% 程度のオイルをゆっくり入れる。
- 新しいディップスティックを取り付けて油量を点検する（図 36）。
- 残りのオイルをゆっくり足して**FULL**マークまで入れる。

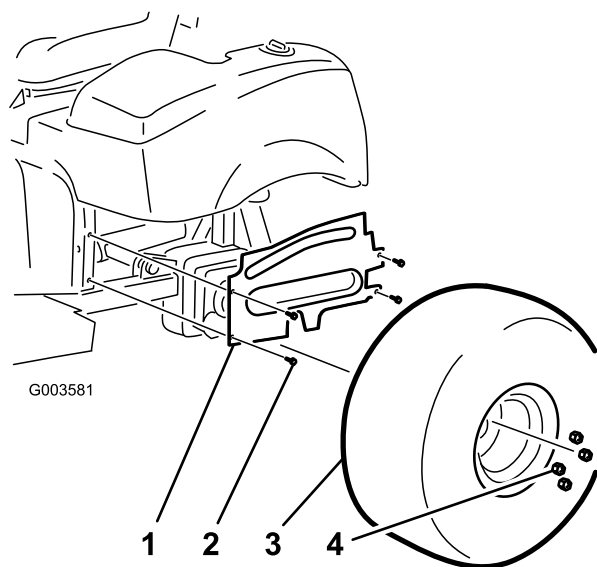
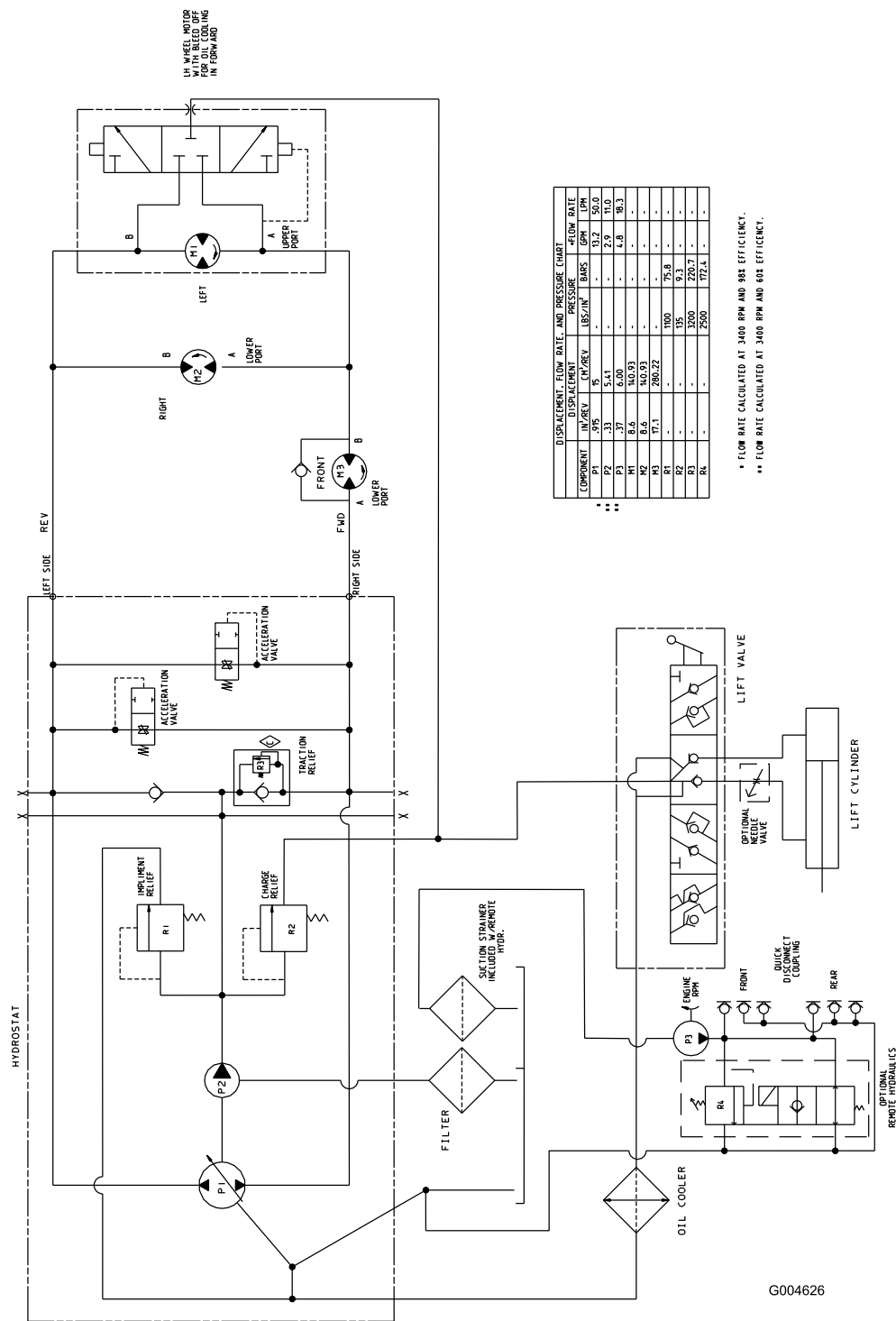


図 37

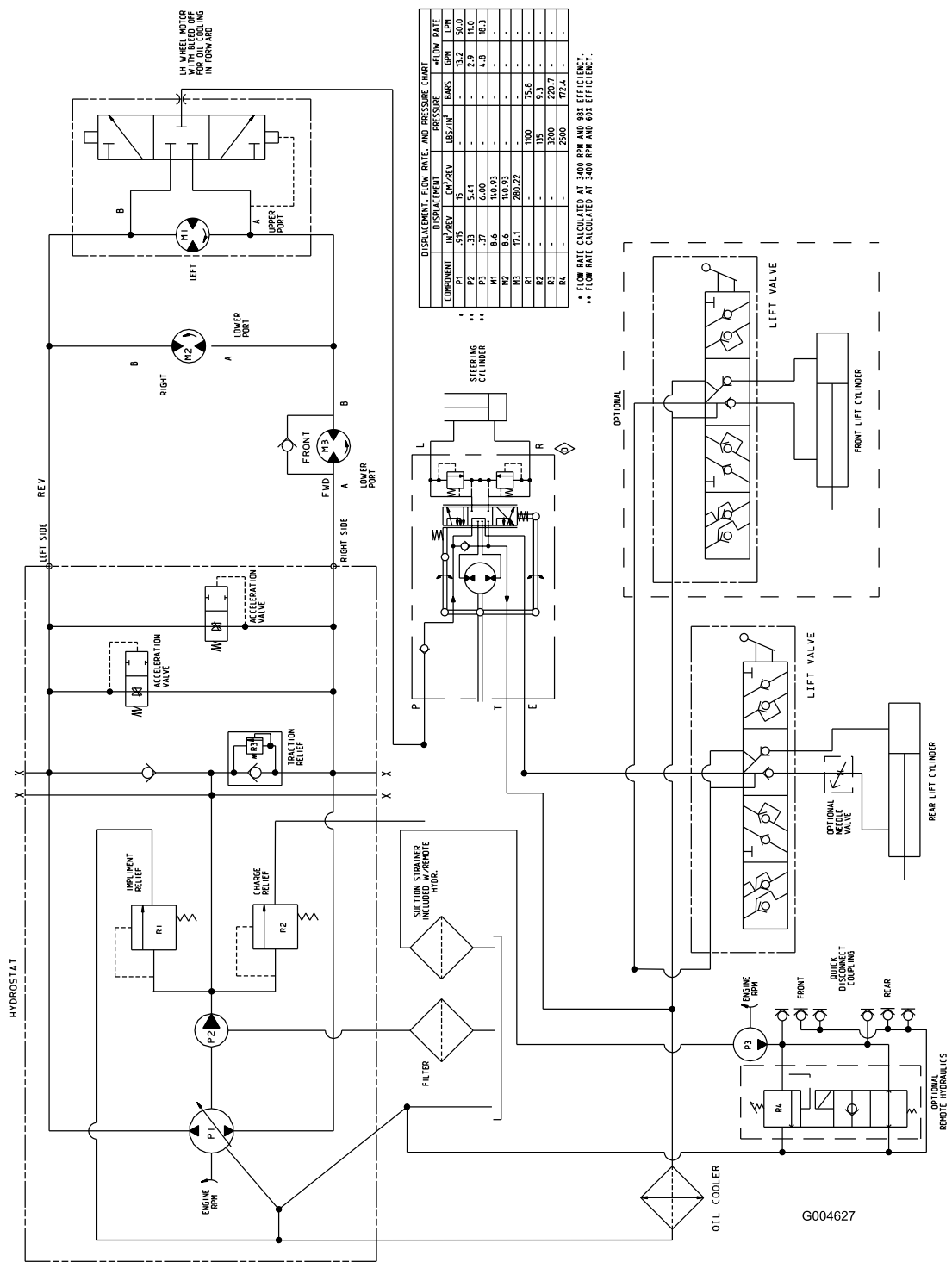
- | | |
|----------------|---------|
| 1. 左ホイール用シュラウド | 3. 左タイヤ |
| 2. フランジヘッドねじ | 4. ナット |

-
11. 機体を床面に降ろす。
 12. リアヒッチシールドを取り付ける。
 13. エアクリーナを点検する。



油圧回路図 サンドプロ 3040 オプション (Rev. C)

G004626



油圧回路図 サンドプロ 5040 オプション (Rev. D)

メモ:



Count on it.